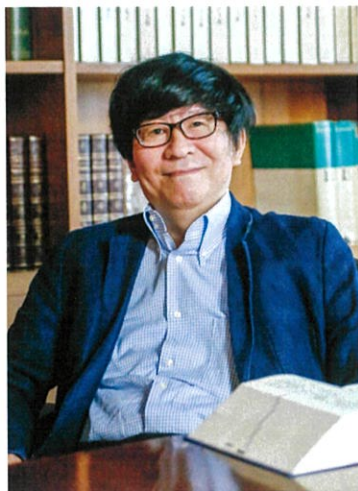


新潮社の漢字講座

迷ったときの漢字の調べ方

講師 小駒勝美



＜講師紹介＞

小駒 勝美 (ここま かつみ)

1954 (昭和29) 年東京都生まれ。新潮社校閲部勤務。慶應義塾大学商学部、文学部卒業。1989年新潮社入社。日本語を読むための漢字辞典『新潮日本語漢字辞典』を企画、執筆、編集する。漢字検定一級。JIS漢字委員、校正記号委員を務めた。著書に『漢字は日本語である』(新潮社)、『日本語文字・表記の難しさとおもしろさ』(共著・彩流社)。新潮社校閲部では7年の間文芸誌に携わる。『新潮日本語漢字辞典』刊行の後、文芸書、新潮選書など広く手掛ける。2016年7月より「新潮社の漢字講座」、2018年より単発の体験型漢字イベント「新潮社の漢字講座〈スペシャル体験編〉辞典の王者『大漢和辞典』『康熙字典』に挑戦!」等の講師も務める。

今回は「漢字の調べ方」にテーマをしばってお話しします。実際のケースを、できるだけ入手しやすい資料を利用して調べていきます。

- ①全く見たことのない漢字の調べ方
- ②手書きの文字が読めないとき
- ③普通の字と字形が少し違った字が誤字なのか異体字なのかわからないとき
- ④異体字の使い分けに困ったとき
- ⑤字は知っていても読み方がわからないとき
- ⑥違和感のある文字づかいだが正しいかどうかわからないとき
- ⑦漢字の使い分けの基準に自信が持てないとき
- ⑧由緒ある言葉の出典や文字づかいが知りたいとき……さまざまなケースで、いったいどこを調べれば欲しい情報が見つかるかをお話しします。もちろん、役立つ参考資料や辞書のリストと使い方もお教えします。

*テキストを配付します。
*各自筆記用具をご用意下さい。

【日時】	【受講料】
2021年 10/19 (火)、11/16 (火)、12/21 (火)	9,900円
18:30~20:00 全3回	(税込3,300円×3回分)
(教室開場は30分前です)	

お申し込みは

- ・お電話 **03-3266-5776** (受付時間: 当面の間 平日10:30~16:30)
- ・新潮講座ホームページ (<https://kohza.shinchosha.co.jp/>)
(コンビニ払い、クレジットカード払いをお選びいただけます)

にて承ります。

2110043

ヨム、カク、ミル、シル
新潮講座

〒162-8711 東京都新宿区矢来町71
株式会社 新潮社 図書編集室
TEL 03-3266-5776 (代表)
<https://kohza.shinchosha.co.jp/>

どこを調べれば欲しい情報が見つかる?

——「漢字の調べ方」小駒二題 文:小駒勝美

『三省堂国語辞典』の「押しも押されぬ」の項には「押しも押されぬ」はあやまり、と出ています。「押しも押されぬ」は非常によく見聞きする表現ですが、本当に誤りなのでしょうか? Googleなどの検索エンジンは事柄を調べるためにあるので、言葉や文字を調べようとしても、使われている正確な数が出ません。そこで、最も役立つコーパスが「梵天」です。国立国語研究所が開発したコーパスで、2種類あります。一つはwebの用例を幅広く集めたもので、「コーパス梵天」で検索できます。莫大な例が収められていて、出典の出ているウェブページが見られます。「押しも押されぬ」が875例、「押しも押されぬ」が2279例、「押しも押されぬ」が圧倒的ですね。もう一つは書物を中心に出典を明示したもので、「小納言」と検索すると出てきます。こちらは「押しも押されぬ」が26例、「押しも押されぬ」が16例と逆転します。出版物の中では辞書の影響で規範性が強く意識されているようです。しかし日本語の世界の中でこれだけ使われている「押しも押されぬ」はそろそろ解禁される時のようです。

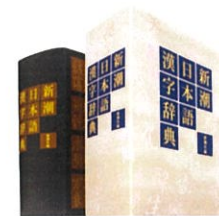
須賀敦子さんの蔵書印(写真右)、「須賀蔵書」と読めるので残りの字を読んでほしいと依頼されました。読めない手書き文字を読む場合、まず役立つのが『書道字典』(角川書店)です。ハンコの字は篆書ですがどんな書体も網羅されています。右列の下二つが「須賀」左列の上二つが蔵書なのは間違いなさそうです。ハンコの場合最後の2字は「之印」なのが普通ですが、最後の字は別の字で、左半分は「言」なので言偏の字をたどっていくと「記」が見つかりました。左の行は「蔵書之記」でした。第一字は上が草冠、左が「禾」なので「茉莉花」の「莉」と判明しました。二字目左が「王」右が「可」なので「那珂川」の「珂」です。しかし辞書には「莉珂」という熟語は全く出ていません。どちらも音訳に使われる字です。須賀敦子さんの経歴を調べたところ、夫君がジュゼッペ・リッカ氏であることがわかりました。蔵書印は「莉珂須賀蔵書之記」ご夫婦の名を並べたものでした。



教室のご案内



「新潮社の漢字講座」
小駒勝美講師の編著書
(上)日本ではじめての「日本語としての漢字」を引くための辞典『新潮日本語漢字辞典』を執筆、編纂。/(下)『漢字は日本語である』(ともに新潮社刊)。



<交通のご案内> 東京メトロ東西線「神楽坂」駅2番出口より徒歩30秒
<神楽坂教室住所> 東京都新宿区矢来町109 神楽坂ローズビル3F

☆日程が変更される場合がございます。ご了承下さい。

☆講師の病欠、受講者の人数が一定数に達しないなど、諸条件によって中止になる場合があります。

☆個人情報、受講連絡、講座企画の資料、弊社からの各種ご案内にのみ使わせていただきます。

☆お支払いいただいた受講料は、欠席の場合でも原則としてお返しいたしません。

☆神楽坂ブック倶楽部(KBC)会員は受講料が5%割引になります。